

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	ばんばんPlug.		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応: 職員が子どもの得意なことや苦手なことを理解しており、個々の特性に合わせた支援を行っていることが評価されています。	個別・小集団でより細やかな療育はばんばん全体として大切に行っていることです。社内研修だけでなく、様々な研修に参加し、よりよい支援に繋がるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングで日々の振り返りを行う。 ・事業所同士での支援の実践共有
2	職員の対応: 職員は親切で、家庭でできる支援方法を積極的に教えてくれることが好評です。また、常に相談に快く応じてくれる点も評価されています。	ばんばんで送迎がないのは、質の良い療育を提供したいという思い以外に、お子さまの成長や変化をご家族と共有しながら一緒に考えていきたいという思いがあります。ご家族からのちょっとした相談もスタッフ間で必ず共有をし、どのように返事・アドバイスをしていくことがよかったかをその都度検証しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングの手法をスタッフが学んでいく。 ・ライフステージの異なる事業所同士での交流を図り、将来に向けて必要なことや情報も提供できるようにする。
3	環境の適応: 特性に合わせた療育環境が整っており、子どもたちが心地よく過ごせるよう配慮されていることが強みです。	ばんばんPlug.の環境的な強みとして、療育空間の広さがあります。その為用途別に空間を分ける、クールダウンエリアがひとつだけでなく状態によって本人が場所を選べる、小集団をさらに少ないグループに分けるなど、その日のお子さまに合わせて柔軟に環境設定を変えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員がTEACCH研究会に加入し、構造化、視覚支援について学びと支援の方向性の統一をする。 ・応用行動分析(ABA)を活用し、お子さまの行動を分析し、アプローチの仕方を考えていく。 ・おめめどうの研修受講、ツールの活用をし、より般化しやすい視覚的支援の実践をする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	改善が期待される点 施設の物理的環境: 一部のコメントでバリアフリーの難しさや、より快適な環境を望む声がありました。	ビルの2階に事業所がある為、送迎時にどうしても階段の上り下りがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、階段、玄関の安全管理を日々行う。 ・療育空間内は安全面に配慮した構造をしています。
2	健康管理: 療育中や食事の後のマスクの使用など、感染症対策に関する更なる配慮が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの警戒期が明けて、お子さまへの配慮、徹底が緩んでいる部分がありました。感染症については時期に応じてスタッフだけでなくお子さまへの配慮も徹底していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行に合わせて注意喚起をしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ばんばんPlug.

公表日 令和7年3月1日

利用児童数 59名

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	0	0	1	・皆さん優しいです。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	6	0	3	・建物の構造上バリアフリーは難しそうに思います。 ・自分の子の特性と療育環境がとても合っているように思います。	・ビルの2階に事業所がある為ご不便をおかけして申し訳ありません。ご協力とご理解をお願いします。事業所内は活動目的ごとに部屋を分けるだけでなく、衝立や床のマットの色を変えることでより、子どもたちが「どこで、なにを」ということをわかりやすいようにしています。 ・情報伝達についてはできる限り視覚化し、自分たちで見て確認をし、自分たちで判断して動けるようステップアップで支援しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	0	・適宜の相談にも快く応じてくださります。本人の見えにくい障害にもアプローチして下さり心強いです。 ・いつも相談して下さったり、普段の様子を話したり。考えて下さってるのが伝わります ・子供の得意なこと苦手なことをよく理解してくれていると思います。 ・子どもの一つ一つの動作から気持ちを汲み取ろうとしてくださる姿にいつも感謝しています。 ・細やかに子供のことを見てくださり、特性に応じた指摘や対応の仕方を教えてください。	・今後もお子さまに対して専門性のある支援ができるようスタッフ一人ひとり学びと実践を重ねていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	0	・いつも色々和孩子が興味を持つような内容にしてください、子供は楽しみにしています。	・プログラムについては方針やプログラム例についてはホームページに公開をしております。毎月の活動についてはLINEでのお知らせと玄関に掲示をしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	8	10		
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1	0	1			

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	0	1	0	・以前から何度もお伝えしているのですが、療育中やおやつ後もきちんとマスクを着用してほしいです。お迎えの時に外しているのをそらく守ってもらえていないと思っています。こちらはかなりの勇気を出して毎回お願いをしているので、ここはきちんと守っていただきたいです。家族に重度の喘息の方がいないとわからないかもしれませんが、どうかご理解ください。よろしくお願いします。	・大変申し訳ありません。コロナの時期が過ぎてもスタッフのマスク着用、事業所内の消毒については続けていますが、お子さまに対する徹底が緩んでいました。今後はこういったことが無いようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	0	・先生が子供の特性に気付いて下さりすぐに家庭で出来る支援を教えて下さりました。 ・面談はまだ利用していませんが、希望する場合は面談に応じてくださるシステムはとても心強いなと思いました！	・定期的な面談だけでなく、利用毎に相談をお受けすることもできます。お子さまが成長するときは同時に心配なことも出てきます。気兼ねなくなんでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1	2	7	・タイミングが合わず交流会(茶話会)には参加出来ていないのですが、いつか参加してみたいです。	・今後も茶話会や保護者向けセミナーを開催していきます。 ・きょうだい向けのイベントなどについてはまだやり方がわからない為、情報を集めながら法人内で検討をしています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	1	5	・活動内容が事前にLINEで届くので、子どもは見通しがたって安心して通えています。	・活動内容については定期的にInstagramに掲載をしています。活動予定については主に公式LINEを活用してお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	0	4	・私が忘れていただけなのかもしれませんがマニュアルは分かりません。	・各マニュアルの周知が不十分で申し訳ありません。玄関の本棚にいつでも見ていただけるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	0	0	3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	3	1	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0	・しっかりと本人の中で、安心して通える場所と根付いているように思います。いつもありがとうございます！	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	0	0	・調理活動を楽しみにしています	・「楽しい!できた!」の体験からお子さま達は成長をしていきます。いつもそう感じてもらえるよう今後もよりよい活動を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ばんばんPlug.

公表日 令和7年3月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	より療育の質を上げる為、制度の基準配置より多い人員を配置するようにしています。	時期によって職員の業務量が多くなってしまい、負担を感じている職員がいます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	療育空間は子どもが自立して過ごしやすいよう構造化をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	個別療育・集団療育・プレイ療育・相談室はそれぞれ分かれており、活動目的ごとにわかれながら過ごせるようになっています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	子どもの希望や様子に合わせて個別の部屋やカームダウンエリアを使えるようになっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	朝礼、昼礼、毎日の活動シュミレーションをしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価表だけでなく、保護者の方から要望があった時にはすぐに職員で話し合うようにしています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	ホームページに公開をしている他、毎月活動内容をLINEで送るようになっています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	発達検査だけでなく、事業所でもアセスメントを複数とり療育内容・個別支援計画に反映をしています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	標準化されたアセスメントや行動観察、日々の子どもの様子をご家族からも伺うようになっています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ガイドラインを基に個別支援計画に記載内容は変更をしています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	長期休暇は自分でお金を使ったり、公共交通機関を利用する外出などもしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	活動が固定化されないよう、個別療育・集団療育・プレイ療育の3種類に取り組むようにしています、	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	子どもが来られる前には毎日全員で活動シュミレーションをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	自己選択・自己決定ができる場を事業所で過ごすときに経験ができるような仕組みはたくさん用意しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	児童発達支援センターの研修には参加をするようにしていますが、スーパーバイズはまだ依頼をしたことがありません。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		ばんばんPlug.の活動目的上、学童や児童館との交流は難しく取り組めていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		管理者ばかりが出席をしていたので、今後は他の職員も参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		年2回の家族会をしたが、希望をしていたが参加ができなかった方がおられた。頻度を増やし、できる限りご家族が参加できるものを企画していきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		